(様式第 9)

口大医総第[redacted]
平成２３年[redacted]

厚生労働大臣　　　　　　　　　殿

開設者名　　岡　　正[redacted]

山口大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成２２年度の業務に関して報告します。

記

1　高度の医療の提供の実績　→　別紙参照 (様式第 10)
2　高度の医療技術の開発及び評価の実績　→　別紙参照 (様式第 11)
3　高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	43 人

(注)　前年度の研修医の実数を記入すること。

4　診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
　　→　別紙参照 (様式第 12)
5　診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
6　他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
　　→　別紙参照 (様式第 13)
7　医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	253人	75人	313.0人	看護補助者	40人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	12人	15人	24.0人	理学療法士	6人	臨床検査 臨床検査技師	48人
薬剤師	35人	0人	35.0人	作業療法士	3人	臨床検査 衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	6人	臨床検査 その他	0人
助産師	18人	0人	18.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	614人	31人	637.4人	臨床工学技士	10人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	0人	1人	0.7人	栄養士	1人	その他の技術員	36人
歯科衛生士	1人	1人	1.7人	歯科技工士	1人	事務職員	207人
管理栄養士	9人	1人	9.7人	診療放射線技師	29人	その他の職員	39人

(注)　1　報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
　　2　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
　　3　「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8　入院患者、外来患者及び調剤の数
　　歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	633.6人	16.1人	649.7人
1日当たり平均外来患者数	1,232.4人	55.8人	1,288.2人
1日当たり平均調剤数	2,502剤		

(注)　1　「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
　　2　入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。
　　3　外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
　　4　調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

（様式第10）

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
骨髄細胞移植による血管新生療法（閉塞性動脈硬化症又はバージャー病（従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。）に係るものに限る。	0人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術（再発翼状片、角膜上皮欠損（角膜移植によるものを含む。）、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜瘢痕、眼球癒着（スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷瘢痕その他の重症の瘢痕性角結膜疾患を含む。）、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。）	10人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術（双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例（妊娠十六週から二十六週に限る。）に係るものに限る。）	15人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法（がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。）	58人
インプラント義歯（顎骨の過度の吸収により、従来の可徹性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。）	4人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助	31人
先天性難聴の遺伝子診断	0人
角膜ジストロフィの遺伝子解析（角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。）	12人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注1）「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注2）「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第10）

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術（特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症（NIHF）例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの（妊娠二十週から三十四週未満に限る。）に係るものに限る。）	1人
蛍光膀胱鏡を用いた5－アミノレブリン酸溶解液の経口投与又は経尿道投与による膀胱がんの光力学的診断筋層非浸潤性膀胱がん	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注1）「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注2）「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第10）

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

（注） 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

（様式第10）

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

<table>
<tr><th>疾　患　名</th><th>取扱患者数</th><th>疾　患　名</th><th>取扱患者数</th></tr>
<tr><td>・ベーチェット病</td><td>30人</td><td>・膿疱性乾癬</td><td>6人</td></tr>
<tr><td>・多発性硬化症</td><td>48人</td><td>・広範脊柱管狭窄症</td><td>14人</td></tr>
<tr><td>・重症筋無力症</td><td>46人</td><td>・原発性胆汁性肝硬変</td><td>43人</td></tr>
<tr><td>・全身性エリテマトーデス</td><td>90人</td><td>・重症急性膵炎</td><td>3人</td></tr>
<tr><td>・スモン</td><td>1人</td><td>・特発性大腿骨頭壊死症</td><td>63人</td></tr>
<tr><td>・再生不良性貧血</td><td>25人</td><td>・混合性結合組織病</td><td>15人</td></tr>
<tr><td>・サルコイドーシス</td><td>41人</td><td>・原発性免疫不全症候群</td><td>5人</td></tr>
<tr><td>・筋萎縮性側索硬化症</td><td>29人</td><td>・特発性間質性肺炎</td><td>2人</td></tr>
<tr><td>・強皮症，皮膚筋炎及び多発性筋炎</td><td>84人</td><td>・網膜色素変性症</td><td>20人</td></tr>
<tr><td>・特発性血小板減少性紫斑病</td><td>43人</td><td>・プリオン病</td><td>0人</td></tr>
<tr><td>・結節性動脈周囲炎</td><td>8人</td><td>・肺動脈性肺高血圧症</td><td>5人</td></tr>
<tr><td>・潰瘍性大腸炎</td><td>120人</td><td>・神経線維腫症</td><td>17人</td></tr>
<tr><td>・大動脈炎症候群</td><td>15人</td><td>・亜急性硬化性全脳炎</td><td>0人</td></tr>
<tr><td>・ビュルガー病</td><td>25人</td><td>・バッド・キアリ（Budd-Chiari）症候群</td><td>0人</td></tr>
<tr><td>・天疱瘡</td><td>13人</td><td>・慢性血栓塞栓性肺高血圧症</td><td>0人</td></tr>
<tr><td>・脊髄小脳変性症</td><td>23人</td><td>・ライソゾーム病</td><td>1人</td></tr>
<tr><td>・クローン病</td><td>61人</td><td>・副腎白質ジストロフィー</td><td>1人</td></tr>
<tr><td>・難治性の肝炎のうち劇症肝炎</td><td>2人</td><td>・家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）</td><td>0人</td></tr>
<tr><td>・悪性関節リウマチ</td><td>9人</td><td>・脊髄性筋委縮症</td><td>0人</td></tr>
<tr><td rowspan="2">・パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病）</td><td rowspan="2">148人</td><td>・球脊髄性筋委縮症</td><td>0人</td></tr>
<tr><td>・慢性炎症性脱髄性多発神経炎</td><td>7人</td></tr>
<tr><td>・アミロイドーシス</td><td>4人</td><td>・肥大型心筋症</td><td>0人</td></tr>
<tr><td>・後縦靭帯骨化症</td><td>107人</td><td>・拘束型心筋症</td><td>0人</td></tr>
<tr><td>・ハンチントン病</td><td>1人</td><td>・ミトコンドリア病</td><td>1人</td></tr>
<tr><td>・モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）</td><td>38人</td><td>・リンパ脈管筋腫症（LAM）</td><td>0人</td></tr>
<tr><td>・ウェゲナー肉芽腫症</td><td>6人</td><td>・重症多形滲出性紅斑（急性期）</td><td>0人</td></tr>
<tr><td>・特発性拡張型（うっ血型）心筋症</td><td>38人</td><td>・黄色靭帯骨化症</td><td>11人</td></tr>
<tr><td>・多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリーブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群）</td><td>19人</td><td rowspan="2">・間脳下垂体機能障害（PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症）</td><td rowspan="2">30人</td></tr>
<tr><td>・表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）</td><td>0人</td></tr>
</table>

（注）「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第10）

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・画像等手術支援加算	・
・眼底三次元画像解析	・
・胎児心エコー法(超音波検査)	・
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

（注）「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	CPC5回(8症例)，胸部カンファレンス6回
部検の状況	部検症例数　24例　／　部検率　11.3%

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
小型魚類を用いた次世代型遺伝子導入法の開発	坂井田 功	第一内科	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
骨髄由来liver repair cell（LR細胞）の開発	坂井田 功	第一内科	6,624,000	補 委	文部科学省
肝硬変・肝不全に有用な骨髄由来Nano-induced Stem Cell(Nano-iSC)分離培養技術の臨床開発	坂井田 功	第一内科	20,000,000	補 委	独立行政法人 科学技術振興機構
骨髄および脂肪由来細胞を用いた次世代型肝臓再生・修復（抗線維化）療法の開発研究	坂井田 功	第一内科	47,600,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究代表者)
肝がんの新規治療法に関する研究	坂井田 功	第一内科	2,500,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
進行・再発肝細胞癌に対する動注化学療法と分子標的役併用による新規治療法の確立を目指した臨床試験(PhaseⅢ)ならびに効果を予測するbiomakerの探索研究	坂井田 功	第一内科	1,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
肝発癌抑制を視野に入れた肝硬変の栄養療法のガイドライン作成を目指した総合的研究	坂井田 功	第一内科	500,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
骨髄由来肝臓修復細胞を用いた次世代型細胞遺伝子治療法の開発のための基盤研究	寺井 崇二	第一内科	5,800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
非アルコール性脂肪性肝炎関連発癌に対する戦略的研究	寺井 崇二	第一内科	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
新しい蘇生後脳症予後判定マーカーは善玉か悪玉か？	泉 友則	第一内科	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
EBウイルス陽性胃癌の発生におけるDNAメチル化の関与について	西川 潤	第一内科	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
防風通聖散および大柴胡湯の肝発癌・肝線維化抑制効果の研究	内田 耕一	第一内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
骨髄幹細胞とマクロファージの相互作用を用いた次世代型肝修復療法の開発	石川 剛	第一内科	1,600,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
微細構造からみた骨髄幹細胞の非アルコール性脂肪肝炎と肝硬変に対する修復機構の研究	山本 直樹	第一内科	1,600,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
重症心不全・致死性不整脈に対する分子標的療法の確立	松崎 益徳	第二内科	4,800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

小計 15

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額		補助元又は委託元
わが国の生活習慣病における一次予防のための運動基準策定を目的とした大規模介入研究	松崎 益徳	第二内科	1,000,000	補・委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
特発性心筋症に関する調査研究	松崎 益徳	第二内科	1,100,000	補・委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
リアノジン受容体内シグナル伝達改善による新しい心不全・不整脈治療法の開発	矢野 雅文	第二内科	2,800,000	補・委	日本学術振興会 科学研究費補助金
肥大型心筋症における心肥大退縮療法の開発	矢野 雅文	第二内科	1,600,000	補・委	日本学術振興会 科学研究費補助金
超音波組織トラッキングによる左室心基部と心尖部での拡張開始時相差と拡張機能の検討	村田 和也	第二内科	400,000	補・委	日本学術振興会 科学研究費補助金
リアノジン受容体分子内特定ドメインをターゲットとした致死的不整脈の新しい治療	山本 健	第二内科	800,000	補・委	日本学術振興会 科学研究費補助金
筋小胞体マイクロドメイン脱リン酸化調節異常を標的にした心不全治療法の開発	池田 安宏	第二内科	1,100,000	補・委	日本学術振興会 科学研究費補助金
細胞内カルシウム放出制御による新しい悪性高熱症・不整脈の治療開発	小林 茂樹	第二内科	900,000	補・委	日本学術振興会 科学研究費補助金
リアノジン受容体内ドメイン連関障害の是正による致死性不整脈治療法の開発	奥田 真一	第二内科	1,600,000	補・委	文部科学省 科学研究費補助金
ナトリウムチャネル病における致死的不整脈発症機序の解明とその治療応用	土居 正浩	第二内科	1,600,000	補・委	文部科学省 科学研究費補助金
糖尿病を進行させるβ細胞死のメカニズム解明と治療法の開発	谷澤 幸生	第三内科	4,600,000	補・委	日本学術振興会 科学研究費補助金
Wolfram症候群の実態調査に基づく早期診断法の確立と診療指針作成のための研究	谷澤 幸生	第三内科	13,500,000	補・委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究代表者)
糖尿病診療均てん化のための標準的診療マニュアル作成とその検証 ―ガイドラインを実用化するためのシステム・体制整備の視点から	谷澤 幸生	第三内科	700,000	補・委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
新規糖輸送促進蛋白CLIP170の機能解析	江本 政広	第三内科	500,000	補・委	日本学術振興会 科学研究費補助金
新規GLUT4結合蛋白による新たなインスリン依存性糖取り込み調節機構の解明	奥屋 茂	第三内科	800,000	補・委	日本学術振興会 科学研究費補助金

小計 15

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
GSK－３βの膵β細胞量調節機構の解明とその制御による2型糖尿病治療の研究	田部 勝也	第三内科	1,900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
血液神経関門の人為的改変：難治性末梢神経疾患新規治療法開発へのアプローチ	神田 隆	神経内科	3,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
難治性ニューロパチーの診断技術と治療法の開発に関する研究	神田 隆	神経内科	700,000	補 委	国立精神・神経医療研究センター
ビッカースタッフ型脳幹脳炎の診断及び治療方法の更なる推進に関する研究	神田 隆	神経内科	13,500,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究代表者)
免疫性神経疾患に関する調査研究	神田 隆	神経内科	1,200,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
オリゴ糖複合体形成に伴う分子相同性：カンピロバクター感染後性神経疾患での証明	古賀 道明	神経内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
スモンに関する調査研究	川井 元晴	神経内科	700,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
血液脳関門を介したAβ蛋白の脳からの除去促進機構の解明	佐野 泰照	神経内科	1,500,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
後期糖化反応生成物が血液神経関門に及ぼす影響の解析	清水 文崇	神経内科	900,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
ストレス脆弱性モデル動物における神経形態学的変化と神経可塑性異常の検討	渡辺 義文	精神科神経科	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
うつモデルマウスにおけるエピジェネティックな遺伝子発現調節異常の検討	内田 周作	精神科神経科	2,200,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
精神疾患の客観的補助診断法の標準化と科学的根拠に基づく治療反応性の判定法の確立	内田 周作	精神科神経科	1,300,000	補 委	国立精神・神経医療研究センター
プライマリーケアで使用可能な、DNAチップを用いたうつ病の診断指標の作成	内田 周作	精神科神経科	1,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
抗うつ薬作用機序におけるエピジェネティックな役割の検討	大朏 孝治	精神科神経科	2,000,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究	大朏 孝治	精神科神経科	850,000	補 委	国立精神・神経医療研究センター

小計 15

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
神経可塑性メカニズムの解明～抗うつ薬の創薬を目指して～	山形 弘隆	精神科神経科	1,700,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
神経可塑性メカニズムの解明～抗うつ薬の創薬を目指して～	山形 弘隆	精神科神経科	950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
抑うつに関与する脳腸神経ペプチドが気分障害患者の脳基盤異常に与える影響	松尾 幸治	精神科神経科	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究	市山 高志	小児科	1,100,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
インフルエンザ脳症の発症因子の解明とそれに基づく発症前診断方法の確立に関する研究	市山 高志	小児科	1,500,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	市山 高志	小児科	2,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
自己骨髄細胞移植による血管再生療法の治療効果を予測するシステムの確立	濱野 公一	第一外科	3,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
遺伝子操作による心筋細胞から心筋幹細胞の作成と心筋再生治療への応用	濱野 公一	第一外科	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
外科侵襲後の癌進展における血管内皮前駆細胞の役割	榎 忠彦	第一外科	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
メカニカルストレスセンサーを分子標的とした大動脈瘤新規治療法の開発	吉村 耕一	第一外科	3,900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
Shaggy aorta症候群への挑戦：病態解明と治療法開発への応用	吉村 耕一	第一外科	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
低出力衝撃波照射によるリンパ管再生の誘導とリンパ浮腫治療への応用	白澤 文吾	第一外科	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
内因性心筋再生を誘導するメカニズムの解明と新たな心筋再生治療法の開発	美甘 章仁	第一外科	3,700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
肺切除後の残存肺再生および創傷治癒における骨髄由来幹細胞の役割の解明	上田 和弘	第一外科	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
虚血プレコンディショニングによる心筋保護作用の機序の解明――幹細胞の視点から	森景 則保	第一外科	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

小計 15

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額		補助元又は委託元
移植細胞の生着率向上に基づく血管新生治療法の開発	桂 春作	第一外科	1,100,000	補	日本学術振興会 科学研究費補助金
肺癌進展における肺気腫の関与とその機序の解明	林 雅太郎	第一外科	1,400,000	補	日本学術振興会 科学研究費補助金
糖尿病による骨髄細胞の機能低下における酸化ストレスの関与と抗酸化治療の効果	久保 正幸	第一外科	1,700,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
低酸素プレコンディショニングによる骨髄細胞の血管再生能の増強と臨床への展開	古谷 彰	第一外科	3,600,000	補	日本学術振興会 科学研究費補助金
メチル化遺伝子を用いた早期肝癌診断システムの開発	岡 正朗	第二外科	3,400,000	補	日本学術振興会 科学研究費補助金
35 科学的・行政的視点を踏まえた、がん細胞免疫療法の開発　分担課題：膵癌細胞療法	岡 正朗	第二外科	1,200,000	委	国立がん研究センター
宿主遺伝子多型と腫瘍遺伝子変異による大腸癌化学療法の効果・毒性予測	硲 彰一	第二外科	1,200,000	補	日本学術振興会 科学研究費補助金
再生医療を駆使した新しい小腸伸張術	上野 富雄	第二外科	3,000,000	補	日本学術振興会 科学研究費補助金
細径管消化管吻合補助器の実用化	上野 富雄	第二外科	1,947,000	委	科学技術振興機構
化学療法における消化管毒性とDiamine Oxidase(DAO)活性	武田 茂	第二外科	1,600,000	補	日本学術振興会 科学研究費補助金
進行肝細胞癌に対する腫瘍抗原mRNA導入樹状細胞療法	爲佐 卓夫	第二外科	1,000,000	補	日本学術振興会 科学研究費補助金
肝細胞癌再発関連遺伝子のDNA異常に基づく血液からの再発予測システムの開発	恒富 亮一	第二外科	1,000,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
B7−DC−Immunoglobulin融合蛋白を用いた次世代型免疫療法の開発	吉村 清	第二外科	1,200,000	補	日本学術振興会 科学研究費補助金
肝細胞癌における門脈浸潤関連遺伝子RDBPの発現および機能解析	飯田 通久	第二外科	1,500,000	補	文部科学省 科学研究費補助金
肝細胞癌の新規腫瘍マーカーとしての血液中浮遊DNA量の測定意義	徳久 善弘	第二外科	1,400,000	補	文部科学省 科学研究費補助金

小計 15

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
医療機器市販後安全情報の医療機関等への情報伝達手段等に関する研究	田口 敏彦	整形外科	780,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
腰痛の診断、治療に関する研究「腰部脊柱管狭窄症の診断・治療法の開発」	田口 敏彦	整形外科	1,200,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
脊柱靱帯骨化症に関する調査研究	田口 敏彦	整形外科	1,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
脊髄障害性疼痛症候群の実態の把握と病態の解明に関する研究	田口 敏彦	整形外科	500,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
他人からの手、足同種移植の臨床応用に向けて—キメリズムによる安定した免疫寛容獲得	村松 慶一	整形外科	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
細胞接着因子の操作による慢性期脊髄損傷治療法の開発	鈴木 秀典	整形外科	600,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
ラット脊髄損傷後の機能的神経筋電気刺激治療モデルの確立	寒竹 司	整形外科	1,100,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
乾癬発症候補遺伝子群の高次構造の解明	武藤 正彦	皮膚科	1,800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	武藤 正彦	皮膚科	3,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握と治療法の開発等に関する研究	武藤 正彦	皮膚科	1,100,000	補 委	山口県
淡明細胞型腎癌患者におけるコピー数多型の解析	坂野 滋	泌尿器科	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
コラーゲン膜応用共培養システムによる角膜の構造及び機能維持機構の解明	西田 輝夫	眼科	5,900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
環境酸素濃度の低下による角膜上皮バリアー機能の低下に対する修復機構の解明	柳井 亮二	眼科	1,600,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
角膜上皮創傷治癒過程における神経ガイダンス因子の機能解析	高 知愛	眼科	100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
角膜における神経ガイダンス分子の発現と生理的機能の解明	森重 直行	眼科	1,700,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金

小計 15

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
強膜線維芽細胞を介したコラーゲンゲル収縮・分解へのプロスタグランジン誘導体の影響	鈴木 克佳	眼科	1,100,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
角膜潰瘍の形成機序及びその新規治療薬の開発	木村 和博	眼科	1,200,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
内耳熱ショック応答の加齢による変化と老人性難聴への応用	山下 裕司	耳鼻咽喉科	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
前庭機能異常に関する調査研究	山下 裕司	耳鼻咽喉科	1,700,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
前庭神経系の可塑性における前庭神経節の役割に関する研究	下郡 博明	耳鼻咽喉科	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
末梢前庭機能回復過程におけるメカニズムの解明を目指して	竹野 研二	耳鼻咽喉科	600,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
いびきの音響解析と三次元CTによる睡眠呼吸障害患者の上気道閉塞部位診断法の確立	原 浩貴	耳鼻咽喉科	400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
加齢内耳における老化遺伝子の変化と熱ショック応答について	菅原 一真	耳鼻咽喉科	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
Video一Oculographyにおける定量的評価に基づく眼振解析システム	橋本 誠	耳鼻咽喉科	800,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
老人性難聴モデルにおける凝集体形成の研究と分子シャペロンに着目した治療戦略の確立	御厨 剛史	耳鼻咽喉科	1,900,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
血流イメージを用いた喀血の病態解析	松隈 美和	放射線科	1,300,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
活性酸素を介した生殖戦略:黄体機能調節における生理活性物質としての活性酸素の役割	杉野 法広	産科婦人科	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
化学物質の子どもへの健康影響に関するエピジェネティクス評価法の開発	杉野 法広	産科婦人科	3,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
腫瘍抑制性セルピンであるマスピンの子宮頸癌の進展制御機構に関する研究	縄田 修吾	産科婦人科	900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
SCC抗原の結合分子の検索と機能解析、臨床的意義の解明および分子標的治療への応用	村上 明弘	産科婦人科	400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

小計 15

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
子宮内膜症の病態に関するゲノムデオキシリボ核酸メチル化プロファイルの網羅的解析	山縣 芳明	産科婦人科	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ヒト子宮内膜間質細胞におけるプロゲステロンによる遺伝子特異的な調節機構の解明	竹谷 俊明	産科婦人科	800,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
エストロゲンレセプターαプロモーターの組織特異的なメチル化領域の同定	浅田 裕美	産科婦人科	2,100,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
Akt(protein kinase B)の活性化による脊髄保護に関する研究	松本 美志也	麻酔・蘇生科	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
非対称性ジメチルアルギニンが脳血管反応性へ及ぼす影響と術後早期高次脳機能障害	石田 和慶	麻酔・蘇生科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
遅発性神経細胞死における細胞内エネルギー代謝調節酵素に関する研究	福田 志朗	麻酔・蘇生科	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
難治性てんかんの局所脳温制御による治療とその応用	鈴木 倫保	脳神経外科	7,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
温度制御デバイスによる中枢神経系疾患に対するドラッグデリバリーシステムの開発	鈴木 倫保	脳神経外科	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
発達期における骨格系と脳脊髄液循環動態の発生学的特性に基づく高次脳脊髄機能障害の治療および総合医療に関する研究	鈴木 倫保	脳神経外科	1,000,000	補 委	国立精神・神経医療研究センター
頸動脈ステント留置術後の再狭窄に対するシロスタゾールの効果に関する多施設共同無作為化比較試験(CAS-CARE)	鈴木 倫保	脳神経外科	1,050,000	補 委	財団法人 先端医療振興財団
頸動脈ステント留置術後の血管イベントの発症に関する前向き観察研究(IDEALCAST)	鈴木 倫保	脳神経外科	718,200	補 委	財団法人 先端医療振興財団
ラットの脳性麻痺による痙縮モデルを利用した、中枢神経の病的線維連絡の解明	野村 貞宏	脳神経外科	800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
神経作動薬を用いた脳腫瘍幹細胞ターゲット療法の開発	吉川 功一	脳神経外科	1,200,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
くも膜下出血後の脳血管攣縮におけるコレステロールの役割	白尾 敏之	脳神経外科	1,400,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
難治性側頭葉てんかんに対するCryosurgeryを用いた低侵襲治療法の開発	井本 浩哉	脳神経外科	500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

小計 15

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
胚性幹細胞由来大脳皮質細胞を用いた脳神経回路網形成および情報処理・伝達法の開発	出口 誠	脳神経外科	900,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
舌筋由来幹細胞を用いた骨再生法	上山 吉哉	歯科口腔外科	4,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
閉塞性睡眠時無呼吸症候群における口腔内装置の治療効果と効果予測因子	上山 吉哉	歯科口腔外科	800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
障害者歯科におけるEBM確立を目的としたクリニカルパス開発および利用に関する研究	上山 吉哉	歯科口腔外科	600,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
口腔癌化学放射線療法の新規効果予測因子の同定とその発現に基づいた個別化医療の構築	原田 耕志	歯科口腔外科	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
DNAコピー数異常に基づいた口腔扁平上皮癌新規予後マーカーの検討	内田 堅一郎	歯科口腔外科	1,400,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
腫瘍血管新生抑制を標的とした口腔扁平上皮癌に対する分子標的療法の開発	板敷 康隆	歯科口腔外科	950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
癌の診断・予後判定に有用な遺伝子マーカーの前向き研究による開発と臨床検査への応用	日野田 裕治	検査部	4,900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
肝癌合併肝硬変を含む自己培養骨髄細胞投与による新規肝臓再生療法をめざした基礎研究	高見 太郎	検査部	1,600,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
大脳局所冷却装置を用いた術中脳機能マッピング法の確立	藤井 正美	手術部	1,900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
医療機関内輸血副作用監視体制に関する研究	藤井 康彦	輸血部	9,500,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究代表者)
輸血用血液製剤及び血漿分画製剤投与時の効果的なインフォームド・コンセントの実施に関する研究	藤井 康彦	輸血部	300,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 (研究分担者)
重症患者の正しいせん妄評価の普及のための疫学調査とせん妄発症メカニズムの病態解明	鶴田 良介	先進救急医療センター	500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
急性腎障害の早期予後予測： 網羅的プロテオーム解析による尿中バイオマーカーの確立	笠岡 俊志	先進救急医療センター	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
救急医療体制連携強化推進に関する調査・研究	笠岡 俊志	先進救急医療センター	2,780,000	補 委	山口県

小計 15

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額		補助元又は委託元
ラット熱中症モデルにおける活性酸素傷害の解明と治療法の確立	藤田 基	先進救急医療センター	1,600,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
炎症性疾患におけるメディエータとステロイドの相互作用の解明と臨床応用	宮内 崇	先進救急医療センター	1,300,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
データマイニング等の手法を用いた急性心筋梗塞患者のリスク評価と予後予測	松井 邦彦	総合診療部	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
胎児心不全の病態解明と診断法の開発についての研究	中田 雅彦	周産母子センター	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
排卵過程においてメラトニンは卵胞内で活性酸素種から卵や顆粒膜細胞を保護する	田村 博史	周産母子センター	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
鉄キレート剤による新たな進行肝細胞癌治療の開発	山崎 隆弘	光学医療診療部	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
プロテオーム解析を用いた膵癌の発癌関連蛋白質の検討と早期診断マーカーの検出	吉野 茂文	腫瘍センター	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
末梢血中のメチル化CCND2遺伝子測定による肝癌の低侵襲性予後診断	飯塚 徳男	漢方診療部	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
肝細胞癌のスクリーニングに用いる臨床検査の診断特性と費用対効果への影響	井上 裕二	医療情報部	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
エビデンスレベルの高い診断検査関連の研究論文作成支援システムの構築とその評価	石田 博	医療情報部	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
高血圧における酸化ストレス亢進に対する生体防御機構の新たな機序解明	梅本 誠治	臨床試験支援センター	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
情報の構造化による医療事故・ヒヤリハット情報の利活用に関する研究	古川 裕之	薬剤部	500,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 （研究分担者）
クリーニング所における洗濯物尾消毒方法に関する研究	尾家 重治	薬剤部	800,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 （研究分担者）
テロの可能性のある病原体等の早期検知・迅速診断法の開発とその評価法の確立に関わる研究	尾家 重治	薬剤部	1,700,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金 （研究分担者）

計 149

（注） 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技 術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
Hepatology. 2010 Mar;51(3):1037-45.	Retinoic acid signaling positively regulates liver specification by inducing wnt2bb gene expression in medaka.	Negishi T, Nagai Y, Asaoka Y, Ohno M, Namae M, Mitani H, Sasaki T, Shimizu N, Terai S, Sakaida I, Kondoh H, Katada T, Furutani-Seiki M, Nishina H.	第一内科
Dig Endosc. 2010 Jan;22(1):64-8.	Double balloon endoscope facilitates endoscopic retrograde cholangiopancreatography in roux-en-y anastomosis patients.	Iwamoto S, Ryozawa S, Yamamoto H, Taba K, Ishigaki N, Harano M, Iwano H, Sakaida I.	第一内科
Dis Model Mech. 2010 Jul-Aug;3(7-8):431-40. Epub 2010 Apr 6.	Medaka as a model for human nonalcoholic steatohepatitis.	Matsumoto T, Terai S, Oishi T, Kuwashiro S, Fujisawa K, Yamamoto N, Fujita Y, Hamamoto Y, Furutani-Seiki M, Nishina H, Sakaida I.	第一内科
Cell Transplant. 2010;19(10):1237-46. Epub 2010 Jun 3.	Autologous bone marrow infusion activates the progenitor cell compartment in patients with advanced liver cirrhosis.	Kim JK, Park YN, Kim JS, Park MS, Paik YH, Seok JY, Chung YE, Kim HO, Kim KS, Ahn SH, Kim do Y, Kim MJ, Lee KS, Chon CY, Kim SJ, Terai S, Sakaida I, Han KH.	第一内科
Hepatol Res. 2010 Jun;40(6):574-84.	Effect of a late evening snack using branched-chain amino acid-enriched nutrients in patients undergoing hepatic arterial infusion chemotherapy for advanced hepatocellular carcinoma.	Harima Y, Yamasaki T, Hamabe S, Saeki I, Okita K, Terai S, Sakaida I.	第一内科
Anticancer Res. 2010 Jul;30(7):2539-43.	Heat-shock protein 27 is phosphorylated in gemcitabine-resistant pancreatic cancer cells.	Taba K, Kuramitsu Y, Ryozawa S, Yoshida K, Tanaka T, Maehara S, Maehara Y, Sakaida I, Nakamura K.	第一内科
J Gastroenterol Hepatol. 2010 Sep;25(9):1514-7.	Fine-tuning the criteria for strip biopsy and endoscopic submucosal dissection improves the outcome of early gastric carcinoma treatment.	Nishikawa J, Satake M, Hamabe K, Fukagawa Y, Shirai Y, Kiyotoki S, Saito M, Okamoto T, Sakaida I.	第一内科
Cancer Sci. 2010 Nov;101(11):2333-40. doi: 10.1111/j.1349-7006.2010.01696.x.	A set of genes associated with the interferon-γ response of lung cancer patients undergoing α-galactosylceramide-pulsed dendritic cell therapy.	Okita K, Motohashi S, Shinnakasu R, Nagato K, Yamasaki K, Sato Y, Kitamura H, Hijikata A, Yamashita M, Shimizu K, Fujii S, Ohara O, Taniguchi M, Sakaida I, Nakayama T.	第一内科
J Gastroenterol. 2011 Mar;46(3):359-66. Epub 2010 Aug 25.	A novel transcatheter arterial infusion chemotherapy using iodized oil and degradable starch microspheres for hepatocellular carcinoma: a prospective randomized trial.	Yamasaki T, Hamabe S, Saeki I, Harima Y, Yamaguchi Y, Uchida K, Terai S, Sakaida I.	第一内科
J Gastroenterol Hepatol. 2010 Oct;25(10):1636-41. doi: 10.1111/j.1440-1746.2010.06379.x.	Usefulness of magnifying endoscopy with narrow-band imaging for determining gastric tumor margin.	Kiyotoki S, Nishikawa J, Satake M, Fukagawa Y, Shirai Y, Hamabe K, Saito M, Okamoto T, Sakaida I.	第一内科

計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Circ Res	Catecholaminergic polymorphic ventricular tachycardia is caused by mutation-linked defective conformational regulation of the ryanodine receptor	Hitoshi Uchinoumi	第二内科
Circ J	Tongue Muscle-Derived Stem Cells Express Connexin 43 and Improve Cardiac Remodeling and Survival After Myocardial Infarction in Mice	Masaki Shibuya	第二内科
Cardiovas Res	Isoform-Specific Roles of Protein Phosphatase 1 Catalytic Subunits in Sarcoplasmic Reticulum-Mediated Ca2+ Cycling	Hidekazu Aoyama	第二内科
Circ J	Dantrolene, a Therapeutic Agent for Malignant Hyperthermia, Inhibits Catecholaminergic Polymorphic Ventricular Tachycardia in a RyR2R2474S/+ Knock-In Mouse Model	Shigeki Kobayashi	第二内科
J Echocardiogr	Heterogeneity of apex-to-base dispersion in diastolic lengthening is related to impaired global left ventricular relaxation in patients with hypertrophic cardiomyopathy	Takeo Tanaka	第二内科
Tohoku J Exp Med. 2010年	Gemtuzumab ozogamicin therapy for isolated extramedullary AML relapse after allogeneic hematopoietic stem-cell transplantation.	Ando T	第三内科
Transpl Infect Dis. 2010年10月	Cytomegalovirus ventriculoencephalitis in a reduced- intensity conditioning cord blood transplant recipient.	Ando T	第三内科
Eur J Haematol. 2010年10月	Increased serum levels of high-mobility group box 1 protein in patients who developed acute graft-versus-host disease after allogeneic haematopoietic stem cell transplantation.	Yujiri T	第三内科
Br J Haematol. 2011年2月	Alteration in serum B cell-activating factor levels inpatients with idiopathic thrombocytopenic purpura after Helicobacter pylori eradication therapy.	Yujiri T	第三内科
臨床神経学	iGg4関連自己免疫膵炎による膵腫大を呈したpoems症候群」	西原 秀昭	神経内科

計 10

2 論文発表等の実績

雑　誌　名	題　　　　　名	発表者氏名	所属部門
Diabetologia	Advanced glycation end-products induce basement membrane hypertrophy in endoneurial microvessels and disrupt the blood-nerve barrier by stimulating the release of TGF-β and vascular endothelial growth factor (VEGF) by pericytes.	清水　文崇	神経内科
J Neurol Sci	A serological analysis of viral and bacterial infections associated with neuromyelitis optica.	古賀　道明	神経内科
The Journal of Neuroscience	Early life stress enhances behavioral vulnerability to stress through the activation od REST4-mediated gene transcription in the medial prefrontal cortex of rodents	Uchida et al.	精神科神経科
Proceedings of the National Academy of Science of the United States of America	Impaired hippocampal spinogenesis and neurogenesis and altered affective behavior in mice lacking heat shock factor 1	Uchida et al.	精神科神経科
Neuron	Epigenetic status of Gdnf in the ventral striatum determines susceptibility and adaptation to daily stressful events	Uchida et al.	精神科神経科
Platelets 2010.4	Functional expression of cysteinyl leukotriene receptors on human platelets.	Hasegawa S	小児科
Cell Immunol 2010.7	Prostaglandin E2 suppresses β1-integrin expression via E-prostanoid receptor in human monocytes/macrophages.	Hasegawa S	小児科
Pediatr Allergy Immunol 2011.3	Characteristics of atopic children with pandemic H1N1 influenza viral infection: Pandemic H1N1 influenza reveals "occult" asthma of childhood.	Hasegawa S	小児科
Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery	Compensation of pulmonary function after upper lobectomy versus lower lobectomy	Kazuhiro Ueda	第一外科
The Annals of Thoracic Surgery	Simple geometrical infarct exclusion technique with a single patch for postinfarction ventricular septal perforation	Toshiro Kobayashi	第一外科

計 10

2 論文発表等の実績

雑　誌　名	題　名	発表者氏名	所属部門
Jounal of Vascular Surgery	Extracorporeal shock wave therapy ameliorates secondary lymphedema by promoting lymphangiogenesis	Masayuki Kubo	第一外科
Journal of Surgical Research	Mesh-based pneumostasis contributes to preserving gas exchange capacity and promoting rehabilitation after lung resection	Kazuhiro Ueda	第一外科
European Journal of Cardio-thoracic Surgery	Computed tomography-defined functional lung volume after segmentectomy versus lobectomy	Kazuhiro Ueda	第一外科
Clin Chim Acta. 2011 Jan 14;412(1-2):152-8.	Efficient detection of hepatocellular carcinoma by a hybrid blood test of epigenetic and classical protein markers.	Iizuka N	第二外科
Cancer Sci. 2010 Mar;101(3):722-7.	A Phase I Study of Irinotecan and Doxifluridine for Metastatic Colorectal Cancer Focused on UGT1A1*28 Polymorphism.	Hazama S	第二外科
Experimental and Therapeutic Medicine, 1(1) January-February: 89-92, 2010	Cell-free DNA levels increased in sera in relation to inflammation are predictive of distant metastasis of esophageal squamous cell carcinoma.	Tomochika S	第二外科
Tissue Eng Part A. 2010 May;16(5):1761-8.	in vivo Motility Evaluation of the Grafted Gastric Wall with Small Intestinal Submucosa (SIS).	Nishimura T	第二外科
Clin Chim Acta. 2010 Apr 2;411(7-8):516-20.	Preoperative assessment of methylated cyclin D2 gene circulating in the blood for prediction of early intrahepatic recurrence of hepatocellular carcinoma after hepatectomy	Tsutsui M	第二外科
Jpn J Clin Oncol. 2011 Feb;41(2):165-71.	The Importance of Evaluation of DNA Amplificability in KRAS Mutation Testing with Dideoxy Sequencing using Formalin-fixed and Paraffin-embedded Colorectal Cancer Tissues.	Okayama N	第二外科
Hepatogastroenterology. 201; 57(97):172-7.	Improvement of QOL and prognosis by treatment of superfine dispersed lentinan in patients with advanced gastric cancer.	Yoshino S	第二外科

計 10

2 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
Surg Today. 2010 May;40(5):404-10.	Immuno- and gene-therapeutic strategies targeted against cancer (mainly focusing on pancreatic cancer).	Yoshimura K	第二外科
Genes Chromosomes Cancer. 2010 May;49(5):452-62.	TWIST1 hypermethylation is observed frequently in colorectal tumors and its overexpression is associated with unfavorable outcomes in patients with colorectal cancer.	Okada T	第二外科
Anticancer Res. 2010 Nov;30(11):4459-65.	Proteomic differential display analysis shows up-regulation of 14-3-3 sigma protein in human scirrhous-type gastric carcinoma cells.	Kuramitsu Y	第二外科
ORTHO1110 Vol.33.No.11 2010	Treatment of Metastic Bone Lesions in the Upper Extremity : Indications for Surgery	村松慶一	整形外科
ORTHO1010 Vol.33 No.10 2010	Anatomical Reconstruction of the Knee Extensor Apparatus for Prepatellar Myxofibrosarcoma	村松慶一	整形外科
ORTHOPEDICS Vol.33. No.6 May 2010	Paraplegia Caused By Posture During MRI in a Patient With Cervical Disk Herniation	加藤圭彦	整形外科
Annals of Plastic Surgery Vol.65. No.2 August 2010	Surgical Correction of Claw Toe Deformity Following Harvesting of Vascularized Fibula Graft	村松慶一	整形外科
ORTHOPEDICS Vol.33. No.5 May 2010	Chronic Spinal Cord Injury in the Cervical Spine of a Soccer Player	加藤圭彦	整形外科
Plastic and Reconstructive Surgery July 2010	Myeloablative Irradiation and Granulocyte Colony-Stimulating Factor Prolong the Survival of Chimeric Limb Allografts in a Rodent Model	村松慶一	整形外科
Journal of Surgical Reseach 1－7 2010	Myeloablative Irradiation,Granulocyte-Colony Stimulating Factor,and FK506 can Induce Macrochimerism and Prolong the Survival of Experimental Extremity Allografts	村松慶一	整形外科

計 10

2 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
J Neurosurg Spine 12: 301－305 2010	Biomechanical study of the effect of degree of static compression of the spinal cord in ossification of the posterior longitudinal ligament	加藤圭彦	整形外科
Journal of Plastic, Reconstructive & Aesthetic Surgery 2010	Reconstruction of the proximal humerus by combined use of extracorporeally-irradiated osteochondral graft and free vascularized fibula following resection of Ewing sarcoma	村松慶一	整形外科
J. Invest. Dermatol.(2011)	Epidermal FABP(FABP5) regulates keratinocyte differentiation by 13(s)-HODE-mediated activation of the NF-κB signaling pathway	Ogawa E.	皮膚科
J. Dermatol. Sci. (2010)	Silencing HSF1 by short hairpin RNA decreases cell proliferation and enhances sensitivity to hyperthermia in a human melanoma cell line	Nakamura Y.	皮膚科
J. Invest. Dermatol.(2011)	Characterization of tight junctions and their disruption by UVB in human epidermis and cultured keratinocytes	Yuki T.	皮膚科
Bull. Yamaguchi Med. School (2010)	Analysis of single nucleotide polymorphisms of methyleneterahydrofolate reductase in Japanese psoriasis patients	Deguchi H.	皮膚科
J. Dermatol . (2011)	Prevalence of dermatological disorders in Japan: A nationwide, cross-sectional, seasonal, multicenter, hospital-based study	Furue, M.	皮膚科
The Journal of Urology	Risk factors for breakthrough infection in children with primary vesicoureteral reflux.	Koji Shiraishi	泌尿器科
Urologica Internationalis	Genetic alterations at 13q14 may correlate with differences in the biological behavior of prostate cancer between Japanese and Caucasian men.	Taku Misumi	泌尿器科
Annals Oncology	Methylation level of the RASSF1A promoter is an independent prognostic factor for clear-cell renal cell carcinoma	Yoshihisa Kawai	泌尿器科

計 10

2. 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所属部門
BJU International	Risk group stratification to predict recurrence after transurethral resection in Japanese patients with stage Ta and T1 bladder tumours: validation study on the European Association of Urology guidelines.	Shigeru Sakano	泌尿器科
Pharmacogenomics	Nucleotide excision repair gene polymorphisms may predict acute toxicity in patients treated with chemoradiotherapy for bladder cancer	Shigeru Sakano	泌尿器科
Investigative Ophthalmology and Visual Science	Role of the Ubiquitin-Proteasome Pathway in Down-Regulation of the Gap-Junction Protein Connexin43 by TNF-α in Human Corneal Fibroblasts.	Kazuhiro Kimura	眼科
Investigative Ophthalmology and Visual Science	Release of Interleukins 6 and 8 Induced by Zymosan and Mediated by MAP Kinase and NF-κ B Signaling Pathways in Human Corneal Fibroblasts.	Norimasa Nomi	眼科
Investigative Ophthalmology and Visual Science	Poly(I:C)-induced adhesion molecule expression mediated by NF-κ B and phosphoinositide 3-kinase-Akt signaling pathways in human corneal fibroblasts.	Tomoko Orita	眼科
Investigative Ophthalmology and Visual Science	Three-Dimensional Analysis of Collagen Lamellae in the Anterior Stroma of the Human Cornea Visualized by Second Harmonic Generation Imaging Microscopy.	Naoyuki Morishige	眼科
Eye Contact Lens	Effects of ionic and surfactant agents on the antimicrobial activity of polyhexamethylene biguanide	Ryoji Yanai	眼科
ENTONI 120:8-13,2010	めまい急性期に対するカクテル療法	橋本 誠 山下裕司	耳鼻咽喉科
Otology Japan 20(3):208-212,2010	老人性難聴における熱ショック応答の役割	菅原一真	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望 53(5):330-334,2010	咽喉頭領域における接触型喉頭内内視鏡の有用性の検討	原 浩貴 福田裕次郎 山下裕司	耳鼻咽喉科

計 10

2 論文発表等の実績

雑　誌　名	題　　　　　名	発表者氏名	所属部門
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	耳科手術における耳介軟骨の使用方法	下郡博明	耳鼻咽喉科
Jpn J Radiol 2011;29:316-323	Evaluation of image quality on a per-patient,per-vessel,and per-segment basis by noninvasive coronary angiography with 64-section computed tomography:dual-source versus single-source computed tomography	Yoshiteru Nakashima,Munemasa Okada,Yasuo Washida,Toshiro Miura,Tatsuo Fujimura,Tomoko Nao,Naofumi Matsunaga	放射線科
Circulation Journal 2011;75(2):474-503	Guideline for Management of Vasculitis Syndrome (JCS2008)	Naofumi Matsunaga,Tsuneo Matsumoto,Munemasa Okada	放射線科
Clin Nucl Med. 2010 Sep;35(9):746-750	Lung morphology-perfusion correlation on perfusion SPECT-CT fusion images in two cases of septic pulmonary embolism	Suga K, Kawakami Y, Okada M, Iwanaga H, Matsunaga N	放射線科
Nucl Med Commun:2010 Sep;31(9):821-829	Steal phenomenon-induced lung perfusion defects in pulmonary arteriovenous fistulas: assessment with automated perfusion SPECT-CT fusion images	Suga K, Iwanaga H, Tokuda O, Okada M, Tanaka N, Matsunaga N	放射線科
Nucl Med Commun. 2010 Jul;31(7):673-681	Assessment of cross-sectional lung ventilation-perfusion imbalance in primary and passive pulmonary hypertension with automated V/Q SPECT	Suga K, Tokuda O, Okada M, Koike M, Iwanaga H, Matsunaga N	放射線科
Neuroradiology、published online 29 June 2010	Evaluation of small ischemic lesions after carotid artery stenting:the usefulness of thin-slice diffusion-weighted MR imaging	Shigenari Yamatogi、Matakazu Furukawa、Etsushi Iida、Shotaro Takahashi、Hideyuki Ishihara、Shoichi Kato、Michiyasu Suzuki、Naofumi Matsunaga	放射線科
Ann Nucl Med. 2010 May;24(4):269-277	Lung ventilation-perfusion imbalance in pulmonary emphysema: assessment with automated V/Q quotient SPECT	Suga K, Kawakami Y, Koike H, Iwanaga H, Tokuda O, Okada M, Matsunaga N	放射線科
Reproduction 140: 885-892 2010	Prostaglandin F2 α (PGF2 α) stimulates PTGS2 expression and PGF2 α synthesis through NFKB activation via reactive oxygen species in the corpus luteum of pseudopregnant rats.	Taniguchi K	産科婦人科
The Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism 95: E291-E299 2010	Progesterone increases manganese superoxide dismutase expression via a cAMP-dependent signaling mediated by non-canonical Wnt5a pathway in human endometrial stromal cells.	Matsuoka A	産科婦人科

計 10

2 論文発表等の実績

雑　誌　名	題　　　名	発表者氏名	所属部門
International Journal of Oncology 36: 1395-1400 2010	Tumor-related protein, the aquamous cell carcinoma antigen binds to the intracellular protein carbonyl reductase.	Murakami A	産科婦人科
Fertility and Sterility 93: 1851-1858 2010	Endometrial growth and uterine blood flow: a pilot study for improving endometrial thickness in the patients with a thin endometrium.	Takasaki A	産科婦人科
実験医学 増刊 エピジェネティクスと疾患 28巻15号 217-225 2010	子宮筋腫のゲノムワイド DNA メチル化プロファイル解析	杉野法広	産科婦人科
Journal of Anesthesia 24(2): 225-233, 2010	Temporal profiles of aquaporin 4 expression and astrocyte response in the process of brain damage in fat embolism model in rats.	Toru Gohara, Kazuyoshi Ishida, Kazuhiko Nakakimura, Mitsuyoshi Yoshida, Shiro Fukuda, Mishiya Matsumoto, Takefumi Sakabe	麻酔科蘇生科
Neurol Med Chir (Tokyo). 2010;50(9):839-44.	Application of focal cerebral cooling for the treatment of intractable epilepsy.	Fujii M, Fujioka H, Oku T, Tanaka N, Imoto H, Maruta Y, Nomura S, Kajiwara K, Saito T, Yamakawa T, Yamakawa T, Suzuki M	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo). 2010;50(9):749-55.	Stereotactic radiosurgery/radiotherapy for pituitary adenomas: a review of recent literature.	Kajiwara K, Saito K, Yoshikawa K, Ideguchi M, Nomura S, Fujii M, Suzuki M.	脳神経外科
Surg Neurol Int. 2010 Aug 10;1. pii: 43.	Neuroendoscopic evacuation of intraventricular hematoma associated with thalamic hemorrhage to shorten the duration of external ventricular drainage.	Nomura S, Ishihara H, Yoneda H, Shirao S, Shinoyama M, Suzuki M.	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo). 2010;50(8):661-4.	Delayed parenchymal hemorrhage following successful embolization of brainstem arteriovenous malformation. Case report.	Morihiro Y, Harada K, Kato S, Ishihara H, Shirao S, Nakayama H, Akimura T, Suzuki M.	脳神経外科
No Shinkei Geka. 2010 Aug;38(8):751-6.	Cyst formation after radiosurgery for brain arteriovenous malformation treated with cystoperitoneal shunt	Morihiro Y, Kato S, Imoto H, Nomura S, Harada K, Kajiwara K, Fujii M, Fujisawa H, Saito K, Suzuki M.	脳神経外科
J Cereb Blood Flow Metab. 2010 Oct;30(10):1673-81. Epub 2010 Aug 4.	Recovered neuronal viability revealed by Iodine-123-iomazenil SPECT following traumatic brain injury.	Koizumi H, Fujisawa H, Kurokawa T, Suehiro E, Iwanaga H, Nakagawara J, Suzuki M.	脳神経外科

計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cerebrovasc Dis. 2010;30(2):105-13. Epub 2010 May 22. Cerebrovasc Dis. 2010;30(2):105-13. Epub	Preoperative prediction of outcome in 283 poor-grade patients with subarachnoid hemorrhage: a project of the Chugoku-Shikoku Division of the Japan Neurosurgical Society.	Shirao S, Yoneda H, Kunitsugu I, Ishihara H, Koizumi H, Suehiro E, Nomura S, Kato S, Fujisawa H, Suzuki M.	脳神経外科
Childs Nerv Syst. 2010 Jul;26(7):931-5. Epub 2010 Feb 16.	Factors influencing spinal canal stenosis in patients with long-term controlled hydrocephalus treated with cerebrospinal fluid shunt.	Nomura S, Fujii M, Kajiwara K, Ishihara H, Suehiro E, Goto H, Suzuki M.	脳神経外科
J Clin Neurosci. 2010 Apr;17(4):517-20. Epub 2010 Feb 1.	Operative open intra-aneurysmal thrombectomy for ruptured cerebral aneurysm and peripheral ischemia associated with vasospasm.	Harada K, Kurokawa T, Kato S, Ishihara H, Saka M, Oka F, Fujisawa H, Fujii M, Suzuki M.	脳神経外科
Neurosci Res. 2010 Apr;66(4):402-5.	An implantable, focal brain cooling device suppresses nociceptive pain in rats.	Fujioka H, Fujii M, Koizumi H, Imoto H, Nomura S, Saito T, Yamakawa T, Suzuki M.	脳神経外科
J Neurosurg. 2010 Aug;113(2):369-73.	Continuous hypertension and tachycardia after resection of a hemangioblastoma behind the dorsal medulla oblongata: relationship to sympathetic overactivity at the neurogenic vasomotor center.	Ideguchi M, Kajiwara K, Yoshikawa K, Kato S, Ishihara H, Fujii M, Fujisawa H, Suzuki M.	脳神経外科
J Neurosurg. 2010 Aug;113(2):270-9.	Vaccine therapy with dendritic cells transfected with Il13ra2 mRNA for glioma in mice.	Saka M, Amano T, Kajiwara K, Yoshikawa K, Ideguchi M, Nomura S, Fujisawa H, Kato S, Fujii M, Ueno K, Hinoda Y, Suzuki M.	脳神経外科
Neurol Res. 2010 Jul;32(6):666-9.	Epileptiform discharges and neuronal plasticity in the acute peri-infarct cortex of rats.	Fujioka H, Kaneko H, Fujii M, Suzuki SS, Imoto H, Nomura S, Fujisawa H, Yamakawa T, Suzuki M.	脳神経外科
Brain Research	Moderate hypothermia suppresses jugular venous superoxide anion radical, oxidative stress, early inflammation, and endothelial injury in forebrain ischemia/reperfusion rats	Yoichi Koda, Ryosuke Tsuruta, Motoki Fujita, Takashi Miyauchi, Kotaro Kaneda, Masaki Todani, Tetsuya Aoki, Masaki Shitara, Tomonori Izumi, Shunji Kasaoka, Makoto Yuasa, Tsuyoshi Maekawa	先進救急医療センター
Free Radic Res	Moderate hypothermia suppressed excessive generation of superoxide anion radical and inflammatory reactions in blood and liver in heatstroke: laboratory study in rats.	Masaki Todani, Motoki Fujita, Ryosuke Tsuruta, Takashi Nakahara, Takeshi Yagi, Chiyomi Oshima, Masatsugu Igarashi, Koshiro Takahashi, Shunji Kasaoka, Makoto Yuasa, Tsuyoshi Maekawa	先進救急医療センター
Shock	Hyperoxia suppresses excessive superoixde anion radical generation in blood, oxidative stress, early inflammation, and endothelial injury in forebrain ischemia/reperfusion rats-Laboratory study.	Motoki Fujita, Ryosuke Tsuruta,Tadashi Kaneko, Yohei Otsuka, Satoshi Kutsuna, Tomonori Izumi, Tetsuya Aoki, Masaaki Shitara, Shunji Kasaoka, Ikuro Maruyama, Makoto Yuasa, Tsuyoshi Maekawa	先進救急医療センター

計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gen Hosp Psychiatry	Prevalence and associated factors for delirium in critically ill patients at a Japanese intensive care unit.	Ryosuke Tsuruta, Takashi Nakahara, Takashi Miyauchi, Satoshi Kutsuna, Yasuaki Ogino, Takahiro Yamamoto, Tadashi Kaneko, Yoshikatsu Kawamura, Shunji Kasaoka, Tsuyoshi Maekawa	先進救急医療センター
J Crit Care	Peak value of blood myoglobin predicts acute renal failure induced by rhabdomyolysis.	Shunji Kasaoka, Masaki Todani, Tadashi Kaneko, Yoshikatsu Kawamura, Yasutaka Oda, Ryosuke Tsuruta, Tsuyoshi Maekawa	先進救急医療センター
Jpn J Clin Oncol. 2010 Oct 5. [Epub ahead of print]	The Importance of Evaluation of DNA Amplificability in KRAS Mutation Testing with Dideoxy Sequencing using Formalin-fixed and Paraffin-embedded Colorectal Cancer Tissues.	1. Okayama N, Nishioka M, Hazama S, Sakai K, Suehiro Y, Maekawa M, Sakamoto JI, Iwamoto S, Kato T, Mishima H, Oka M, Hinoda Y.	検査部
Carcinogenesis. 2010 Sep;31(9):1620-6.	Function of UDP-glucuronosyltransferase 2B17 (UGT2B17) is involved in endometrial cancer.	2. Hirata H, Hinoda Y, Zaman MS, Chen Y, Ueno K, Majid S, Tripsas C, Rubin M, Chen LM, Dahiya R.	検査部
Genes Chromosomes Cancer. 2010 May;49(5):452-62.	TWIST1 hypermethylation is observed frequently in colorectal tumors and its overexpression is associated with unfavorable outcomes in patients with colorectal cancer.	3. Okada T, Suehiro Y, Ueno K, Mitomori S, Kaneko S, Nishioka M, Okayama N, Sakai K, Higaki S, Hazama S, Hirata H, Sakaida I, Oka M, Hinoda Y.	検査部
Cancer Sci. 2010 Mar;101(3):722-7.	Phase I study of irinotecan and doxifluridine for metastatic colorectal cancer focusing on the UGT1A1*28 polymorphism.	4. Hazama S, Nagashima A, Kondo H, Yoshida S, Shimizu R, Araki A, Yoshino S, Okayama N, Hinoda Y, Oka M.	検査部
J Neurosurg. 2010 Aug;113(2):270-9.	Vaccine therapy with dendritic cells transfected with Il13ra2 mRNA for glioma in mice.	5. Saka M, Amano T, Kajiwara K, Yoshikawa K, Ideguchi M, Nomura S, Fujisawa H, Kato S, Fujii M, Ueno K, Hinoda Y, Suzuki M.	検査部
日本放射線技術学会雑誌 Vol. 66 (2010), No. 11 pp.1474-1479	Gd-EOB-DTPAを用いた肝臓MRI検査における肝細胞造影相での至適フリップ角の検討	近沢 苑	放射線部
日本放射線技術学会雑誌 Vol. 66 (2010), No. 11 pp.1480-1484	異なる線質で撮影したCRシステムにおける模擬肺結節陰影の検出能に関する実験的研究	藤本 昂也	放射線部
医療情報学	診療支援を目指した慢性疾患マネージメント支援システムの開発と課題	井上 裕二	医療情報部

計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
医療情報学	動的腫瘍増殖モデルによる肝細胞癌のスクリーニングの費用対効果推定への影響	石田 博	医療情報部
臨床病理	長期経過観察後に発症したHCV関連肝細胞癌患者におけるα-Fetoprotein(AFP)およびdes-γ-carboxy prothrombin(DCP)の診断特性の検討	石田 博	医療情報部
Drug Information Journal, 44(6), 693-701, 2010	Analysis of Questionnaire Data Concerning Bar Codes Printed on Ampoule Labels	Masaomi Kimura, Hiroyuki Hurukawa, Hitoshi Tsukamoto, Michiko Okura, Fumito Tsuchiya	薬剤部
Jpn J Infect Dis., 63, 124-127, 2010	Microbial contamination of suction tubes attached to suction instruments and preventive methods	Yorioka K, Oie S, Kamiya A	薬剤部
Jpn J Infect Dis., 63, 277-279, 2010	Microbial contamination of disinfectants used for intermittent self-catheterization	Hakuno H, Yamamoto M, Oie S, Kamiya A	薬剤部
環境感染, 25, 217-222, 2010	Waterless手術時手指消毒法の有用性	奥西淳二, 和田祐爾, 尾家重治	薬剤部

計 6

合計 116

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病 院 長　岡　　正　朗
管理担当者氏名	総務課長　三澤　和男 医事課長　杉山　美由紀

			保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録				紙媒体のカルテは入院、外来別に１患者１ファイル方式として、保存整理している。 2009年9月より順次電子カルテシステムに移行し，移行後は電子媒体で保管している。
病院日誌			総務課	
処方せん			薬剤部	
手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書			診療録センター 医療情報部	
各科診療日誌、エックス線写真			各診療科	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿		総務課	
	高度の医療の提供の実績		医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績		学術研究部研究推進課 小串地区研究・運営支援室	
	高度の医療の研修の実績		総務課	
	閲覧実績		総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績		医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿		医事課	
	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進室	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進室	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進室	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進室	
		専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

			保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御室	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ＭＥ機器管理センター	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ＭＥ機器管理センター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ＭＥ機器管理センター	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ＭＥ機器管理センター	

(注)　「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長　岡　　正朗
閲覧担当者氏名	総務課長　三澤　和男 医事課長　杉山　美由紀
閲覧の求めに応じる場所	医学部本館２階　閲覧室 外来診療棟１階　患者相談室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延　0　件
閲覧者別	医師	延　0　件
	歯科医師	延　0　件
	国	延　0　件
	地方公共団体	延　0　件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率		73．9%	算定期間	平成22年 4月 1日～平成23年 3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数			9,985 人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数			6,530 人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数			1,506 人
	D：初診の患者の数			17,872 人

(注)　1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第１位まで記入すること。
　　　2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

（様式第 13-2）

規則第１条の１１第１項各号及び第９条の２３第１項第１号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： (1) 本院の医療事故防止及び医療の安全管理に関する総合的な体制整備等について (2) 医療事故防止のための安全管理及び医療事故発生時の対応に関すること (3) 医療安全・事故等の防止に関する事項について，病院全体で取り組みための委員会及び推進室の設置並びに業務内容・規程整備等について (4) 医療事故防止のための安全管理に関する教育・研修会等を開催することについて	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年１２回
・ 活動の主な内容： (1) 医療事故の未然防止のための具体的方策・実施計画の策定 (2) リスクマニュアル，インフォームド・コンセントの整備・監修，リスクマネジャーの統括 (3) アクシデント・インシデント報告の分析，フィードバック (4) 医療事故防止のため，職員に対する指導及び教育・研修の企画・立案 (5) 医療安全推進室から提言された医療安全に関する事項の検討	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年１７回
・ 研修の主な内容： (1) 全職員を対象に，職種関係なく横断的に医療安全に関する考え方や医療事故防止策について教育･研修を行う。本院で発生している事例を参考にテーマを決めて院内講師により研修を行う。 また，外部講師により裁判事例や社会情勢について講演してもらい，医療事故防止対策の研修を行う。 (2) 新規(中途)採用医師を対象に，特に医師が起こしやすい事例を参考に行う。主に薬剤関係，輸血，インフォームド・コンセント及び救急対応等の安全管理を中心に行う。 (3) 研修医を対象に，医師としての心構え（患者への対応など）をはじめ，他職種との連携など相対的な部分と医師が起こしやすい事例などを挙げて年度初めに研修を行う。 (4) 新人看護師とコメディカルを対象に，本院のリスクマネジメントの研修を行う。また，新人看護師を対象として，看護師の業務を中心に医療事故防止策・医療の安全について研修を行う。 また、１年目に起こしやすい事例を挙げ具体的に学ぶ。	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備　（ 有・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療安全推進室において，アクシデント・インシデント報告について分析・再発防止策等の検討を行い，医療安全推進室会議及び医療安全管理委員会に提示して，審議のうえ決定され，リスクマネジャー連絡会議等で，教育・指導を行い再発防止策等の決定事項を周知した。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（ 2名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 2名）・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無

<table>
<tr><td colspan="2">・　所属職員：　専任（ 2 ）名　兼任（ 1 ）名
・　活動の主な内容：
(1)　医療安全管理委員会から提案された医療安全業務の実施に関すること
(2)　アクシデント・インシデント報告の分析並びに再発防止策等の検討，提言に関すること
(3)　医療の安全管理に係る教育・研修の企画・立案及び広報，啓発に関すること
(4)　患者や家族への説明等，事故発生時の対応状況についての確認等に関すること
(5)　事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認等に関すること
(6)　リスクマネジャーとの連絡調整に関すること</td></tr>
<tr><td>⑧　当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</td><td>有・無</td></tr>
</table>

（様式第 13-2）

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

①　院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・指針の主な内容： (1) 感染対策に関する基本的考え方 (2) 医療関連感染対策のための委員会の組織に関する基本的事項 (3) 医療関連感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 (4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 (5) 医療関連感染発生時の対応に関する基本方針 (6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 (7) 本病院における医療関連感染対策の推進のために必要な基本方針	
②　院内感染対策のための委員会の開催状況	年１２回
・　活動の主な内容： (1) 感染の予防に関すること (2) 予防対策実施の指導に関すること (3) 感染予防の教育に関すること (4) 職員の検診とその実施に関すること (5) 検診結果に基づく判定及び事後指導に関すること (6) 院内感染の原因調査、経過の追跡、整理及び分析等に関すること (7) 山口大学医学部附属病院感染制御室の管理及び運営に関すること	
③　従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年１３回
・　研修の主な内容： (1) 医療関連感染防止のための基本的知識の習得 (2) 処置別感染防止のための基本的知識の習得と最新の情報を知る (3) 抗菌薬の適正使用に関連したこと (4) 職業感染対策について 平成22年度については、以下の内容で全職員を対象として研修を実施した。	

月日	テーマ	講師	ビデオ講習会
22.05.19	肝炎・針刺し対策	院内講師	
22.06.16	結核の早期発見と感染対策	学外講師	22.06.30
22.07.21	検体の正しい採取と提出方法	院内講師	
22.08.18	感染と栄養管理	院内講師	
22.09.29	消毒と滅菌	院内講師	
22.10.20	冬に注意すべき感染症と感染対策	院内講師	
22.11.10	抗菌薬について	学外講師	22.11.30
22.12.15	尿路感染症と感染対策	院内講師	
23.01.19	血流感染対策	院内講師	
23.02.16	敗血症／口腔ケアで感染予防	院内講師	
23.03.16	ＳＳＩと創傷感染対策	院内講師	

④　感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況
・　病院における発生状況の報告等の整備　　　　　（ $\boxed{有}$・無　） ・　その他の改善のための方策の主な内容： ・収集した各データや問題点をＩＣＴ会にて検討している。 ・対策を検討し必要な項目は、感染対策委員会へ提案、協議をしている。

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年１０回

・ 研修の主な内容：

平成22年度については、以下の内容で研修を実施した。

研修日	対象者	研修内容	講師等
22.04.02	ｺﾒﾃﾞｨｶﾙ 新採用者	薬剤部の機構と運営	調剤主査
22.04.02	研修医	麻薬の取り扱いについて 処方箋の取り扱いについて	調剤主査
22.04.28	新規（中途）採用医師等	くすりによる事故を起こさないために	調剤主査
22.05.28	全職種	キャンサーボード「医療従事者への抗がん剤曝露の問題とその対策」	製剤室薬剤師
22.07.15	第１病棟９階 看護師	薬剤師から見た薬の使い方と注意点	第１病棟９階 担当薬剤師
22.08.25	第１病棟７階 看護師	透析時に使用される薬剤と免疫抑制剤について	第１病棟７階 担当薬剤師
22.10.26	新任看護師	臨床に役立つ薬剤に関するリスク管理	注射調剤主査
22.12.06	全職種	緊急！医療安全講習会「麻薬の取扱いについて」	副薬剤部長
22.12.16	全職種	ＮＳＴセミナー「がん患者におけるＮＳＴのかかわり～薬剤師の立場から」	製剤主査
23.01.25	全職種	第５回医療安全講習会「疑義照会事例から考える医療安全」	副薬剤部長

③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

・ 手順書の作成 （ 有・無 ）
・ 業務の主な内容：
(1) 医薬品の採用・購入に関する事項
(2) 医薬品の管理に関する事項（麻薬等の管理方法等）
(3) 患者の持参薬歴等の収集方法，処方箋の記載方法
(4) 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項
(5) 医薬品の安全使用にかかる情報の取り扱いに関する事項
(6) 他施設（病院等，薬局等）との連携に関する事項

④　医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況
・　医薬品に係る情報の収集の整備　　　　（ 有・無　） ・　その他の改善のための方策の主な内容： （情報収集の方法） ・薬品メーカー・製薬会社からの情報提供 ・薬剤師会等からの情報提供 ・インターネットを使用し，医薬品の安全使用のための情報収集 ・医療安全推進室と連携し，他病院の事故事例の収集 （情報の周知方法） ・薬剤部より「ＤＩ　ＥＸＰＲＥＳＳ」を発行している。 ・オーダーなど病院情報システムを利用するものについては、医療情報部と連携し，情報を当該端末機に院内限定のホームページでお知らせする。 ・リスクマネジャー連絡会議などを通じて事故防止・対策の周知を行っている。

（様式第 13-2）

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年１９回

・ 研修の主な内容：
・有効性・安全性に関する事項
・使用方法に関する事項
・保守点検に関する事項
・不具合が発生した場合の対応
・法令上遵守すべき事項

③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

・ 計画の策定 （ 有・無 ）
・ 保守点検の主な内容：使用前点検、使用中点検、定期点検

④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （ 有・無 ）
・ その他の改善のための方策の主な内容：
・「ＭＥだより」の配布
・「医療機器安全だより」(メーリングリスト)の配信
・回収・改修情報の周知 等